日本人大学生の中国語学習に対する動機
―因子分析を用いた探求―

任　　利

キーワード：動機、中国語学習、因子分析、日本人大学生、アンケート

要　旨

本稿では、アンケートを行い、量的なアプローチから日本人大学生の中国語学習に対する動機づけを探ることを目的とした。調査の結果を主因子法・プロマックス回転による因子分析を行い、「中国・中国人理解因子」、「仕事・資格獲得因子」、「語学習得因子」、「他者からの影響因子」、「国際性・将来性因子」、「交流の手段因子」、「他言語との比較因子」という 7 つの因子が抽出された。外国語学習動機づけに関する伝統的な分類としての「統合的動機づけ」と「道具的動機づけ」といった二分法と照らし合わせ、日本人大学生の中国語学習に対する動機づけの構成要素は以下のように分類できた。

1. 統合的動機づけ：「中国・中国人理解因子」
2. 道具的動機づけ：「仕事・資格獲得因子」、「国際性・将来性因子」、「交流の手段因子」
3. 語学習得動機づけ：「語学習得因子」
4. 他者からの影響動機づけ：「他者からの影響因子」
5. 他言語との比較動機づけ：「他言語との比較因子」

特に、「語学習得動機づけ」、「他者からの影響動機づけ」、「他言語との比較動機づけ」は、日本人大学生の中国語学習に対する独特の動機づけであると考えられる。また、学年別各因子の得点平均値を比較し、t 検定を行った結果、「他者からの影響因子」では、一年生の得点が有意に高かった。その他の因子では、一年生と二年生の差が見られなかった。同じく、男女別各因子の得点平均値を比較し、t 検定を行った結果、「他言語との比較因子」では、男子学生の得点が有意に高かった。その他の因子では、男子学生と女子学生の差が見られなかった。今回の調査結果を分析することにより、日本人中国語学習の動機づけの多様さを指摘し、日本における中国語教育現状を明らかにし、今後効果的な中国語教育への示唆を探ることができた。

1. はじめに

本稿は、日本人大学生が中国語を学習する動機づけを分析することを目的とする。

現在、日本においては中国語を学習する人数が以前より倍増しつつある。このような状況のもとで、学習者の動機づけを含む現状調査が今後シラバスやカリキュラムの改善および教授法の開発など日本における中国語教育の在り方を探る上で急務であると思われる。

そこで、本稿では日本人大学生の中国語学習の動機づけがどのようなものなのか、また、これからの効果的な中国語教育への示唆を探ってみたい。

2. 先行研究

外国語学習において、学習者の動機づけは重要な要因のひとつである。これまで、外国語学習の動機づけに関しては、「なぜその言語を学ぶのか」という動機づけの構成要素を探る研究が多くなされてきた。

ここでは、外国語学習における動機づけについての先行研究と、中国語教育領域における日本人学習者の動機づけに関する先行研究について見ておきたい。

2. 1. 外国語学習における動機づけに関する先行研究

まず、外国語学習における動機づけについての先行研究を見ていきたい。

外国語学習における学習者の動機づけの研究は、Gardner & Lambert (1972) から始めたとされている。この研究では、学習者の動機づけを、主に「統合的動機づけ (integrative motivation)」と「道具的動機づけ (instrumental motivation)」といった二つのタイプに分けて、外国語学習の成功度との相関関係を調査している。前者の「統合的動機づけ」とは、学習者が目的言語話者の文化や言語、その言語共同体について知りたい、最終的には自分もその共同体の一員になりたいという動機づけである。一方、後者の「道具的動機づけ」とは、外国語の能力を仕事の役に立てたい、自分自身の社会的地位を高めたいなど、ある目的を達するための一種の道具として外国語を学習する場合の動機づけであるという。

Gardner & Lambert (1972) の動機づけに関する二分法は、その後の外国語学習の動機づけ研究に基礎的な土台を築いた。しかし、その後の研究によると、「統合的動機づけ」と「道具的動機づけ」という二分法は、あらゆる外国語習得の動機づけについては十分説明できないことが分かってきた。二分法を基に、動機づけの下位分

類をいろいろ試みた。例えば、Oxford & Shearin (1994) は、上記の二つの動機づけ以外に、「エリート主義[*1]」が重要な動機づけの一つであると指摘した。縫部（2001）は、動機づけを「外発的動機づけ[*2]」と「内発的動機づけ[*3]」とに分類した。

また、ある特定の国または地域における外国語学習者の動機づけについての調査研究によると、国や地域ごとに動機づけが異なっていることが明らかになった。例えば、ニュージーランド大学生の日本語学習の動機づけを研究した縫部・狩野・伊藤（1995）、タイ大学生の日本語学習の動機づけを研究した成田（1998）、シンガポール華人大学生の日本語学習の動機づけを研究した郭・大北（2001）など。

外国語学習の動機づけは、学習者が属する環境や文化的背景などに強く影響されているし、学習者個人の好み、関心、価値観などにも強く影響されているため、外国語学習の動機づけの多様性を究明するために、様々な学習環境での個別研究が必要であるとされている。

2. 2. 日本人中国語学習者の動機づけに関する先行研究

一方、最近、中国語教育の領域でも、学習者の動機づけについて研究されるようになった。特に、英語学習を中心とした外国語学習の動機づけに関する研究成果は、日本人中国語学習者に対しては、そのまま当てはまらないとされている。それは、中国語は言語表現がすべて漢字であるため、漢字の知識を既に有する日本人にとって、中国語学習は他の外国語学習と異なる一面があるからであるとされている。

日本人の中国語学習の動機づけに関する研究は安（2003・2004）、郭・劉（2007）などが挙げられる。

安（2003・2004）では、中国語学習の動機づけには、勉強したい中国語に興味を持つという「統合的動機」と、中国語を使う仕事をしたいという「道具的動機」の他に、ただ単位が簡単に取れるために中国語を選択した動機づけがあると指摘し、この動機を「消極的動機」と名づけ、日本人大学生の中国語学習に対する独特の動機づけであると指摘した。

---

*1 「エリート主義」とは、難しい言語を学習することが一種のエリート主義の自己満足と見られるという性格の動機づけである。

*2 「外発的動機づけ」とは、外から与えられると充足されるという性格の動機づけである。

*3 「内発的動機づけ」とは、「外発的動機づけ」から次第に外国語学習そのものに興味や意欲を持つようになるという性格の動機づけである。

郭・劉（2007）は、日本人大学生が「漢字があるから、勉強しやすい」、「単位がとりやすい」という答えが多く見られ、日本人大学生の中国語学習の動機は中国語や中国文化への興味より実利が強い、と指摘している。それは安（2003・2004）の「消極的動機」に当たるものである。

上記の先行研究に中国語学習動機づけの解明に多くの示唆が含まれていることは確かである。しかし、学習者の動機づけをより明らかにするために、量的なアプローチが必要であると思われる。

3. 本調査の概要

3. 1. 本調査の目的

本調査ではアンケートを行い、量的なアプローチから日本人大学生の中国語学習に対する動機づけを探ることを目的とする。

3. 2. 本調査の対象

本調査の対象は茨城キリスト教大学文学部に在籍し、中国語を履修している大学生 200 名である。199 名（女性 153 名、男性 46 名）から有効な回答を得た。

3. 3. 本調査の時期

本調査は 2007 年 12 月に中国語授業の時間を利用して集団的に実施した。

3. 4. 本調査の内容

調査対象に、「あなたが中国語を学習しようと思った動機をお尋ねします」といった中国語学習の動機づけに関する質問 30 項目について、5 段階評定でアンケートを行った。アンケートの詳細は論文末に記した。

各項目について、1 ＝全然当てはまらない、2 ＝あまり当てはまらない、3 ＝どちらでもない、4 ＝すこし当てはまる、5 ＝かなり当てはまる、のように当てはまる程度が強いほど高得点になるように、1 点から 5 点までの得点を割り当てた。

3. 5. 調査結果

3. 5. 1. 記述統計量

各項目の平均値と標準偏差を以下の表 1 に示した。

表1　記述統計量：各項目の平均値と標準偏差

項　目	度数	平均値	標準偏差
項目 1	199	3.92	.858
項目 2	199	3.10	1.087
項目 3	199	2.78	1.053
項目 4	199	2.87	1.025
項目 5	199	3.83	.925
項目 6	199	2.93	1.155
項目 7	199	3.59	1.124
項目 8	199	3.50	1.082
項目 9	199	3.07	1.106
項目 10	199	4.02	.959
項目 11	199	2.36	1.082
項目 12	199	3.95	.898
項目 13	199	3.17	1.072
項目 14	199	3.49	1.019
項目 15	199	3.80	1.109
項目 16	199	1.99	1.259
項目 17	199	3.53	1.118
項目 18	199	2.69	1.326
項目 19	199	2.19	1.089
項目 20	199	3.17	1.118
項目 21	199	3.47	1.118
項目 22	199	3.73	1.085
項目 23	199	2.35	1.095
項目 24	199	2.90	1.204
項目 25	199	3.71	.971
項目 26	199	3.73	.972
項目 27	199	2.96	1.116
項目 28	199	3.57	1.042
項目 29	199	1.64	.932
項目 30	199	2.69	1.245

3. 5. 2. 因子分析の結果

アンケート調査の 30 項目について主因子法・プロマックス回転による因子分析を行った。そのうち、以下の項目 9 が関連のある因子が存在しないため、削除した。

項目 9　ただ新しい外国語を勉強したいだけである。

残りの 29 項目を再び主因子法・プロマックス回転後、固有値 1 以上の 7 因子が抽出された。因子負荷量 0.30 以上の項目を因子の解釈に用いた。因子分析最終因子パターン行列を以下の表 2、因子間相関を以下の表 3 に示した。

表 2　中国語学習動機づけについての因子分析の結果

項目	因子 1	因子 2	因子 3	因子 4	因子 5	因子 6	因子 7
8	**0.738**	0.006	0.102	-0.011	-0.007	-0.144	0.034
21	**0.697**	-0.025	0.145	-0.018	0.119	-0.053	-0.036
24	**0.619**	0.151	-0.123	0.221	0.041	-0.041	-0.045
17	**0.609**	0.047	-0.038	0.02	0.122	-0.046	-0.025
26	**0.522**	-0.217	0.227	0.106	0.135	0.069	0.092
5	**0.463**	0.091	0.242	-0.257	-0.128	0.026	0.125
6	**0.34**	0.035	0.053	-0.174	-0.116	0.092	0.118
14	**0.337**	0.132	-0.01	-0.102	0.172	0.118	-0.025
11	0.042	**0.748**	-0.045	-0.041	0.005	0.003	-0.133
3	-0.016	**0.679**	-0.047	0.008	0.011	-0.083	**0.433**
2	-0.036	**0.633**	-0.078	-0.143	0.255	-0.038	0.072
19	0.034	**0.479**	0.099	0.138	-0.08	0.087	-0.209
29	-0.014	**0.303**	0.164	0.267	-0.105	0.01	-0.022
20	0.098	**0.301**	0.12	0.094	0.104	0.148	-0.01
25	0.351	-0.099	**0.657**	0.061	-0.068	-0.084	-0.089
1	0.116	0.045	**0.525**	-0.05	-0.112	0.078	0.066
28	0.007	-0.069	**0.484**	0.078	0.051	0.011	0.223
30	-0.05	**0.352**	**0.383**	0.121	-0.075	-0.018	-0.095
7	0.034	-0.019	**0.353**	-0.04	-0.096	0.226	0.026
23	-0.007	0.054	0.17	**0.719**	0.051	-0.106	0.048
18	0.025	-0.054	-0.224	**0.616**	0.01	0.081	0.164

16	0.157	-0.04	-0.122	**0.426**	-0.069	0.207	-0.073
27	-0.216	0.004	0.203	**0.417**	0.185	-0.01	0.194
15	0.145	0.019	-0.146	-0.013	**0.808**	0.066	0.091
22	0.114	0.098	-0.014	0.14	**0.655**	0.027	-0.154
13	-0.096	0.004	0.066	0.089	0.065	**0.931**	-0.07
12	-0.028	0.064	**0.349**	-0.173	0.159	**0.412**	0.038
4	0.114	-0.089	-0.135	0.228	-0.152	0.134	**0.589**
10	-0.018	-0.048	0.187	0.027	0.084	-0.15	**0.551**

表3　因子相関行列

因子	1	2	3	4	5	6	7
1	———	0.459	0.538	0.003	0.274	0.487	0.056
2	0.459	———	0.448	0.305	0.318	0.394	0.144
3	0.538	0.448	———	0.019	0.247	0.421	0.128
4	0.003	0.305	0.019	———	0.139	0.066	0
5	0.274	0.318	0.247	0.139	———	0.063	-0.133
6	0.487	0.394	0.421	0.066	0.063	———	0.133
7	0.056	0.144	0.128	0	-0.133	0.133	———

3. 5. 3. 因子の命名

上記のように、29 項目からなる中国語学習動機づけについて因子分析を行った結果、7 つの因子が抽出された。そこで、因子負荷量の高い項目を各因子の命名に用いた。各因子が関連する項目と因子命名の結果を以下の表 4 に示した。

表4　因子命名

関連項目名(因子負荷量の高→低順)	抽出された因子	因子命名
8、21, 24, 17、26、5、6、14	因子1	中国・中国人理解因子
11、3、2、19、30、29, 20	因子2	仕事・資格獲得因子
25、1、28、30、7、12	因子3	語学習得因子
23、18、16、27	因子4	他者からの影響因子
15、22	因子5	国際性・将来性因子
13、12	因子6	交流の手段因子
4、10、3	因子7	他言語との比較因子

3. 5. 4. 因子の信頼性

各因子と全因子の Cronbach の α 係数を算出し、信頼性を確認した。各因子及び全因子の平均値・標準偏差・信頼性統計量 Cronbach の α 係数は以下の表 5 に示した。

表 5　各因子の平均値・標準偏差・信頼性

因子名	項目数	得点範囲	平均値	標準偏差	α 係数
中国中国人理解	8	8～40	27. 40	5. 760	0. 825
仕事・資格獲得	7	7～35	17. 93	4. 908	0. 765
語学習得	6	6～30	21. 43	4. 131	0. 760
他者からの影響	4	4～20	10. 00	3. 263	0. 614
国際性・将来性	2	2～10	7. 54	1. 969	0. 759
交流の手段	2	2～10	7. 12	1. 718	0. 682
他言語との比較	3	3～15	9. 68	2. 176	0. 526
全因子	29	29～145	91. 67	14. 479	0. 873

表 5 から分かったように、全因子の信頼性統計量 Cronbach の α 係数は 0.873 であるため、十分な信頼性が確認できた。各因子の信頼性統計量 Cronbach の α 係数はそれぞれ因子 1「中国・中国人理解因子」は 0.825、因子 2「仕事・資格獲得因子」は 0.765、因子 3「語学習得因子」は 0.760、因子 4「他者からの影響因子」は 0.614、因子 5「国際性・将来性因子」は 0.759、因子 6「交流の手段因子」は 0.682、因子 7「他言語との比較因子」は 0.526 である。因子 4、因子 6、因子 7 の信頼性統計量 Cronbach の α 係数は 0.70 以下であるため今後検討する余地がある。その他全部 0.70 以上であるため、十分な信頼性が確認できた。

3. 5. 5. 学年別各因子の得点比較

7 つの因子を従属変数とし、一年生と二年生の学年別の得点平均値を比較するため、 t 検定を行った。学年別各因子の得点比較は以下の表 6 に示した。

その結果、「中国・中国人理解因子」の場合は：$t(197)=-0.189, p>0.05$;「仕事・資格獲得因子」の場合は：$t(197)=1.038, p>0.05$;「語学習得因子」の場合は：$t(197)=0.464, p>0.05$;「他者からの影響因子」の場合は:$t(197)=2.433, 0.01<p<0.05$;「国際性・将来性因子」の場合は：$t(197)=0.134, p>0.05$;「交流の手段因子」の場合：$t(197)=0.272, p>0.05$;「他言語との比較因子」の場合は：$t(197)=1.008, p>0.05$ である。「他者

からの影響因子」においては、一年生の得点が有意に高かった。その他の因子においては、一年生と二年生の差が見られなかった。

表 6　学年別各因子の得点比較

因子	学年	N	平均値	標準偏差	t 値
中国・中国人理解	1	110	27.3273	5.78849	-0.189
	2	89	27.4831	5.75664	
仕事・資格獲得	1	110	18.2545	5.09621	1.038
	2	89	17.5281	4.66147	
語学習得	1	110	21.5545	4.03332	0.464
	2	89	21.2809	4.26665	
他者からの影響	1	110	10.5000	3.17603	2.433*
	2	89	9.3820	3.28047	
国際性・将来性	1	110	7.5545	1.93275	0.134
	2	89	7.5169	2.02323	
交流の手段	1	110	7.1455	1.56121	0.272
	2	89	7.0787	1.90230	
他言語との比較	1	110	9.8182	2.15960	1.008
	2	89	9.5056	2.19568	

*p<0.05. df=197.

3.5.6. 男女別各因子の得点比較

同じく、7 つの因子を従属変数とし、男子学生と女子学生の各因子の得点平均値を比較するため、t 検定を行った。男女別各因子の得点比較は以下の表 7 に示した。

その結果、「中国・中国人理解因子」の場合は：$t(197)=-0.371, p>0.05$;「仕事・資格獲得因子」の場合は：$t(197)=-0.487, p>0.05$;「語学習得因子」の場合は：$t(197)=0.1054, p>0.05$;「他者からの影響因子」の場合は：$t(197)=0.514, p>0.05$;「国際性・将来性因子」の場合は：$t(197)=-1.566, p>0.05$;「交流の手段因子」の場合：$t(197)=0.226, p>0.05$;「他言語との比較因子」の場合は：$t(197)=-2.732, p<0.01$ である。「他言語との比較因子」においては、男子学生の得点が有意に高かった。その他の因子においては、男子学生と女子学生の差が見られなかった。

表7　男女別各因子の得点比較

因子	性別	N	平均値	標準偏差	t　値
中国・中国人理解	女性	153	27.3137	5.48739	-0.371
	男性	46	27.6739	6.64682	
仕事・資格獲得	女性	153	17.8366	4.72042	-0.487
	男性	46	18.2391	5.53046	
語学習得	女性	153	21.6013	4.03821	0.1054
	男性	46	20.8696	4.42522	
他者からの影響	女性	153	10.0654	3.14281	0.514
	男性	46	9.7826	3.66311	
国際性・将来性	女性	153	7.4183	1.95547	-1.566
	男性	46	7.9348	1.98217	
交流の手段	女性	153	7.1307	1.66501	0.226
	男性	46	7.0652	1.90207	
他言語との比較	女性	153	9.4510	2.06774	-2.732**
	男性	46	10.4348	2.37255	

** $p < 0.01$. df=197

4. 考察

4.1. 調査結果の分析

4.1.1. 動機づけの下位分類

今回はアンケート調査を行い、量的なアプローチから日本人大学生の中国語学習動機づけを探ることを目的とした。

調査の結果を主因子法・プロマックス回転による因子分析を行い、「中国・中国人理解因子」、「仕事・資格獲得因子」、「語学習得因子」、「他者からの影響因子」、「国際性・将来性因子」、「交流の手段因子」、「他言語との比較因子」という 7 つの因子が抽出された。

まず、「中国・中国人理解因子」は中国語学習の重要な要因の一つであると考えられる。今回のアンケートの 8 項目に高い因子負荷量を持つものである。例えば、

項目 8：中国人の振る舞いや思考方式を知りたい、その背後にある文化的背景を深く理解したい。(因子負荷量 0.738)

項目 21：中日両国の言語、文化の相違点に興味がある。(因子負荷量 0.697)
項目 24：中国の政治・経済・社会の知識を得るために。(因子負荷量 0.619)
項目 17：日本と中国の関係に興味がある。(因子負荷量 0.609)
項目 26：国際理解・異文化理解の一環として。(因子負荷量 0.522)
項目 5：中国の歴史・伝統・風俗習慣を知りたい。(因子負荷量 0.463)
項目 6：中国の文学（三国志、水滸伝など）に興味があり、中国語で読みたい。(因子負荷量 0.340)
項目 14：新しいアイディアの獲得及び視野を広げるのに有利だから。 (因子負荷量 0.337)

「中国・中国人理解因子」は外国語学習の伝統的な分類としての「統合的動機づけ」、即ち、学習者が目的言語話者の文化や言語、その言語共同体について知りたい、目標言語の文化を賞賛し、目標言語に興味を持つ、といった動機づけと見なすことができよう。

次に、「仕事・資格獲得因子」は以下の 7 項目と関連している。例えば、

項目 11：将来、中国語を使う仕事（在日中国企業、在中国日本企業法人など）につきたい。(因子負荷量 0.748)
項目 3：中国語を学ぶのが知的なこととして周りから評価されるから。(因子負荷量 0.679)
項目 2：将来、就職のチャンスが増えるから。(因子負荷量 0.633)
項目 19：中国語能力試験に合格するため。(因子負荷量 0.479)
項目 30：将来、中国へ留学に行きたい。(因子負荷量 0.352)
項目 29：将来、中国人と結婚したい。(因子負荷量 0.303)
項目 20：中国語ができると、自信をつけられる。(因子負荷量 0.301)

「仕事・資格獲得因子」は外国語学習の伝統的な分類としての「道具的動機づけ」、即ち、学習者が外国語の能力を仕事の役に立てたい、自分自身の社会的地位を高めたいなど、ある目的を達するための一種の道具として目的言語を学習する、といった動機づけと見なすことができよう。

さらに、「語学習得因子」はアンケートの 6 項目に高い因子負荷量を持つものである。例えば、

項目 25：中国語という言語そのものへの興味がある。（因子負荷量 0.657）
項目 1：中国語が面白そうで、中国語の勉強が楽しい。（因子負荷量 0.525）
項目 28：身近で親しめる感じがしたから、中国そのものに興味がある。（因子負荷量 0.484）
項目 30：将来、中国へ留学に行きたい。（因子負荷量 0.383）
項目 7：中国の文化（映画,ドラマ,音楽,ファッション,料理など）に興味がある。（因子負荷量 0.353）
項目 12：中国語が分かれば、中国へ旅行・訪問する際、便利だから。（因子負荷量 0.349）

この因子は、外国語学習の伝統的な分類としての「統合的動機づけ」とよく似ている部分があるが、無理やりに下位分類に位置づけるより、独立した動機づけの一つ「語学習得動機づけ」とした方がよいと考えられる。

そして、「他者からの影響因子」は、以下の 4 項目に高い因子負荷量を持つものである。例えば、

項目 23：中国語を学ぶのが流行っているから。（因子負荷量 0.719）
項目 18：親や知人、先輩に勧められたから。（因子負荷量 0.616）
項目 16：親戚や知人には、中国人がいるので、中国語で交流したい。（因子負荷量 0.426）
項目 27：多くの人が勉強しているから。（因子負荷量 0.417）

「他者からの影響因子」は外国語学習の伝統的な分類としての「統合的動機づけ」や「道具的動機づけ」とどちらとも関連が薄いと思われる。独立した動機づけの一つとして「他者からの影響動機づけ」と位置づけた方がよいであろう。 この因子は日本人大学生の独特の動機づけであると思う。自ら進んで中国語を学習するというより、親や先輩の勧めなど周囲から期待されているから中国語を選択した、及び中国語を学ぶのが流行っているから、その流行に乗るといった特徴が見られる。

「国際性・将来性因子」は以下の 2 項目しか関連していない。例えば、

項目 15：国際では、中国の影響力がだんだん強くなってきている。（因子負荷量 0.808）
項目 22：中国語がだんだん重要になってきているから。（因子負荷量 0.655）

アジアの隣国である中国の経済的躍進や社会的発展及び国際的影響力の増進に対して、強く関心を示していることが明らかになった。

また、「交流の手段因子」は以下の 2 項目から高い因子負荷量を持つものである。例えば、

項目 13：中国人の友達がたくさん作れるから。（因子負荷量 0.931）

項目 12：中国語が分かれば、中国へ旅行・訪問する際、便利だから。（因子負荷量 0.412）

この因子は中国語を交流の手段として使いたいという特徴が見られる。

「国際性・将来性因子」と「交流の手段因子」は関連する項目数が少ないため、今後検討する余地があると思う。今回は、外国語学習の伝統的な分類としての「道具的動機づけ」とよく似ている部分があるため、その下位分類に位置づけることにする。

最後に、「他言語との比較因子」は以下の 3 項目から高い因子負荷量を持つものである。例えば、

項目 4：中国語の単位がとりやすい。（因子負荷量 0.589）

項目 10：中国語は漢字があって他の語学より学びやすい。（因子負荷量 0.551）

項目 3：中国語を学ぶのが知的なこととして周りから評価されるから。（因子負荷量 0.433）

この因子は安（2003・2004）で言及した日本人大学生の中国語学習に対する独特の動機づけとして名づけた「消極的動機」の内容によく似ているが、今回では、消極的動機づけというより、むしろ、他の言語との比較から出てきたものであると考えている。この動機は、日本人学習者の独特の動機づけの一つであると思われる。というのは、中国語の言語表現がすべて漢字であるので、漢字の知識を既に有する日本人学習者にとって、中国語学習は英語をはじめとする他の外国語学習と異なる一面があるからである。学習動機づけの一つとして、言語学習の利便さから特に、英語学習を中心とした外国語学習との比較は日本人中国語学習の動機づけの重要な要素となる。そこで、独立した動機づけの一つとして、「他言語との比較動機づけ」と名づけたい。しかし、今回信頼性の Cronbach の α 係数は 0.562 であるため、今後

検討する余地があると思う。

したがって、日本人大学生の中国語学習に対する動機づけの構成要素は以下のように分類できる。

1. 統合的動機づけ:「中国・中国人理解因子」、
2. 道具的動機づけ:「仕事・資格獲得因子」、「国際性・将来性因子」、「交流の手段因子」
3. 語学習得動機づけ:「語学習得因子」
4. 他者からの影響動機づけ:「他者からの影響因子」
5. 他言語との比較動機づけ:「他言語との比較因子」

特に、「語学習得動機づけ」、「他者からの影響動機づけ」、「他言語との比較動機づけ」は日本人大学生の中国語学習に対する独特の動機づけであると考えられる。

4.1.2. 学年別・男女別各因子の得点比較の結果

学年別各因子の得点平均値を比較し、t検定を行った結果、「他者からの影響因子」においては、一年生の得点が有意に高かった。その他の因子においては、一年生と二年生の差が見られなかった。これは二年生に比べると一年生の方は、自ら進んで中国語を学習するというより、親や先輩の勧めなど周囲から期待されているから中国語を選択した、および中国語を学ぶのが流行っているから、流行に乗るといった特徴が強いのではないかと考えられる。

同じく、男女別各因子の得点平均値を比較し、t検定を行った結果、「他言語との比較因子」においては、男子学生の得点が有意に高かった。その他の因子においては、男子学生と女子学生の得点平均値の差が見られなかった。それは外国語学習動機づけに反映された男女差ではないかと考えられる。むろん、今回調査対象の男女比率の差が大きかったため、性差による動機づけの違いについては今後さらに分析する余地があると思う。

4.2. 中国語教育への示唆

今回の結果から、中国語学習動機づけの多様さがあることを指摘できた。外国語学習動機づけに関する従来の伝統的な分類としての「統合的動機づけ」と「道具的動機づけ」といった二分法の他、「語学習得動機づけ」、「他者からの影響動機づけ」、「他言語との比較動機づけ」など日本人大学生の中国語学習に対する独特の動機づ

けが見られた。

特に、「統合的動機づけ」の中に位置づけた「中国・中国人理解因子」は中国語教育に非常に重要な示唆を富むものである。任（2007）が既に指摘したように、現在日本の大学ではまだ文法訳読法という従来の伝統的な中国語教授法を中心に授業を行っている。今回の調査結果から分かるように、学習者が「中国・中国人理解」に非常に関心を持っているため、学習の内容は従来の文法中心では既に適切ではないと思われる。リアルタイムに中国の事情や中国社会の紹介などを積極的に中国語授業に取り入れるように、学習者が中国語への興味をさらに高めるために、教授法の工夫や教材の選択、また学習内容への興味がわくようなカリキュラムの開発などは、中国語授業の改善にとって大切であろう。

また、「道具的動機づけ」の中に位置づけた「仕事・資格獲得因子」、「交流の手段因子」、「国際性・将来性因子」は現在日本における中国語学習者の数が増えつつある、中国語学習のブームが高まっている社会環境の反映であると思う。中国と日本はもはやかつての「近くて遠い国」ではない。人の往来でも、ビジネスの世界においても、紛れもなく同じ時代を生きる「近くて、さらに近い」大切なパートナーである。学習者は隣国である中国の発展及び中国の世界での影響力の増進に強く関心を持っている。そして、中国語を学んで資格と取ったり、就職したりして将来に何らかの形で生かしたいと考えているであろう。このような学習者のニーズに答えて、文法事項の勉強はもちろんのこと、中国語を使って自らの意思を表現できるコミュニケーション能力の育成が非常に重要になってきた。今後、学習者のニーズにあった教材の開発はもちろんのこと、教室で教授法を柔軟に展開することも期待される。

そして、日本人大学生の中国語学習に対する独特の動機づけであると位置づけた「語学習得動機づけ」、「他者からの影響動機づけ」、「他言語との比較動機づけ」は日本における中国語学習者の動機づけの全体像と考えてよいのか、今後被験者を増やして調査する必要があると思う。特に、「他者からの影響動機づけ」においては、一年生の得点が有意に高かった。また、「他言語との比較動機づけ」においては、男子学生の得点が有意に高かった。これらについては今後被験者を増やしてさらに調査する必要があると思う。

5. おわりに

本稿は日本人大学生の中国語学習に対する動機づけについて調査し、因子分析を

行った結果、「中国・中国人理解」、「仕事・資格獲得」、「語学習得」、「他者からの影響」、「国際性・将来性」、「交流の手段」、「他言語との比較」といった 7 つの因子が抽出された。外国語学習動機づけに関する従来の伝統的な分類としての「統合的動機づけ」と「道具的動機づけ」といった二分法と照らし合わせ、日本人大学生の中国語学習動機づけの構成要素が分類できた。また、各動機づけの構成要素に対する分析より今後効果的中国語教育への示唆が見られるようになった。

今後、日本における中国語学習動機づけの全体像を明らかにするために、大学生のみならず、中・高校生、専門学校の学生および社会人を対象に調査し分析する必要がある。特に、「他者からの影響動機づけ」においては、二年生に比べて、一年生の得点が有意に高かった。また、「他言語との比較動機づけ」においては、女子学生に比べて男子学生の得点が有意に高かった。学習年数別および男女別の違いについては今後被験者を増やしてさらに調査する必要があると思う。

参考文献

安　寧（2003）「日本人大学生の中国語学習における動機づけモデル」『京都大学大学院教育学研究科紀要』49 号, pp. 314-326

安　寧（2004）「中国語学習における学習動機,達成目標志向性,学習行動,教授法の好み,成績の間の関連性」『京都大学大学院教育学研究科紀要』50 号, pp.227-240

郭俊海・大北葉子 (2001)「シンガポール華人大学生の日本語学習の動機づけについて」『日本語教育』110 号, pp.130-139

郭春貴・劉国彬（2007）「中国語学習を経た日本人大学生の中国に対する意識変化」『広島修大論集人文編』48 号, pp.181-193

輿水　優（2004）「中国語教育の現状と課題」『日本語教育』122 号,pp.1-11

白井恭弘（2004）『外国語学習に成功する人、しない人』岩波書店

鈴木義昭 (1984)「中国語教育と日本語教育一中国語教育の視点から一」『日本語教育』55 号,pp.59-70

成田高宏 (1998)「日本語学習動機と成績との関係一タイの大学生の場合一」『世界の日本語教育』8 号,pp.1-11

任　利（2007）「日本人学習者を対象とする中国語教授法の研究」『茨城キリスト教大学紀要』41 号,pp.57-64

任　利（2008）「中国語学習の動機づけに関する調査研究」『言語文化研究所紀要』14

号　茨城キリスト教大学言語文化研究所,pp.107-125
縫部義憲・狩野不二夫・伊藤克浩(1995)「大学生の日本語学習動機に関する国際調査ーニュージーランドの場合ー」『日本語教育』86 号, pp.162-172
縫部義憲(2001)『日本語教師のための外国語教育学』風間書房
保坂律子（2003）「中国語学習目的・意欲の変化に関する調査研究」『駒沢女子大学研究紀要』10 号,pp.257-268
水野光晴（1995）『外国語習得その学び方 100 の質問』研究社出版
Gardner,R.C.(1979) Social psychological aspects of second language acquisition . In Giles H and St Clair,R.(eds) *Language and Social Psychology* . Oxford:Basil Blackwell.
Gardner,R.C.(1985) *Social psychology and second language learning* : *The role of attitudes and motivation* . London: Edward Arnold.
Gardner,R.C.& Lambert,W.E.(1959) Motivational variables in second language acquisition. *Canadian Journal of Psychology*. 13:266-272
Gardner,R.C.& Lambert,W.E.(1965) Language aptitude, intelligence,and second language achievement. *Journal of Educational Psychology*. 56:191-199
Gardner,R.C.& Lambert,W.E.(1972) *Attitudes and motivation in second language learning* .Newbury House.
Oxford,R.(1990) Language learning strategies: *What every teacher should know*. Rowley,MA:Newbury House（宍戸通庸・伴紀子訳 1994『言語学習ストラテジー』平凡社）
Oxford,R.& Shearin,J.(1994) Language learning motivation:expanding the theoretical framework. *The Modern Language Journal*.78:12-28

［付記］本稿は平成 20 年度文部科学省科学研究費補助金若手研究（B）（課題番号：20720149、研究代表者：任 利）による研究成果の一部である。

ニン　リ／茨城キリスト教大学文学部専任講師
(2008年10月30日 受理)

＜資料＞　　中国語学習の動機づけについてのアンケート

学年　　性別

あなたが中国語を学習しようと思った動機をお尋ねします。
以下の内容について、当てはまる程度のところに○をつけてください。

1 中国語が面白そうで、中国語の勉強が楽しい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

2 将来、就職のチャンスが増えるから。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

3 中国語を学ぶのが知的なこととして周りから評価されるから。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

4 中国語の単位がとりやすい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

5 中国の歴史・伝統・風俗習慣を知りたい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

6 中国の文学（三国志、水滸伝など）に興味があり、中国語で読みたい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

7 中国の文化（映画,ドラマ,音楽,ファッション,料理など）に興味がある。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

8 中国人の振る舞いや思考方式を知りたい、その背後にある文化的背景を深く理解したい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

9 ただ新しい外国語を勉強したいだけである。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

10 中国語は漢字があって他の語学より学びやすい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

11 将来、中国語を使う仕事（在日中国企業、在中国日本企業法人など）につきたい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

12 中国語が分かれば、中国へ旅行・訪問する際、便利だから。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

13 中国人の友達がたくさん作れるから。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

14 新しいアイディアの獲得及び視野を広げるのに有利だから。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

15 国際では、中国の影響力がだんだん強くなってきている。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

16 親戚や知人には、中国人がいるので、中国語で交流したい。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

17 日本と中国の関係に興味がある。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

18 親や知人、先輩に勧められたから。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

19 中国語能力試験に合格するため。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

20 中国語ができると、自信をつけられる。

全然当てはまらない	あまり当てはまらない	どちらでもない	すこし当てはまる	かなり当てはまる
1	2	3	4	5

21 中日両国の言語、文化の相違点に興味がある。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

22 中国語がだんだん重要になってきているから。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

23 中国語を学ぶのが流行っているから。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

24 中国の政治・経済・社会の知識を得るために。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

25 中国語という言語そのものへの興味がある。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

26 国際理解・異文化理解の一環として。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

27 多くの人が勉強しているから。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

28 身近で親しめる感じがしたから、中国そのものに興味がある。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

29 将来、中国人と結婚したい。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5

30 将来、中国へ留学に行きたい。

全然当てはまらない　あまり当てはまらない　どちらでもない　すこし当てはまる　かなり当てはまる
1　2　3　4　5